



チームラボ株式会社  
2014年10月

データがそのままニュースになる、統計サイト  
博報堂生活総合研究所『生活定点』特設サイトをチームラボが制作

【本文】

博報堂生活総研が22年にわたり調査した、生活者意識に関する統計データ『生活定点』特設サイトを、チームラボが制作。生活定点公開データをもとに、回答同士の相関度が高い項目がわかる「似てるかもグラフ」、グラフの形からデータを探す「逆引き」、グラフの推移を「自動で解説」するテキストなどのコンテンツを開発。一見敬遠しがちな膨大な統計データを、身近なものとして楽しめるデザインとしました。

No. 431 あなたの食生活にあてはまるものを教えてください。 03 食

お米を1日に1度は食べないと気がすまない

最新（2014年）の調査結果  
**53.5%**

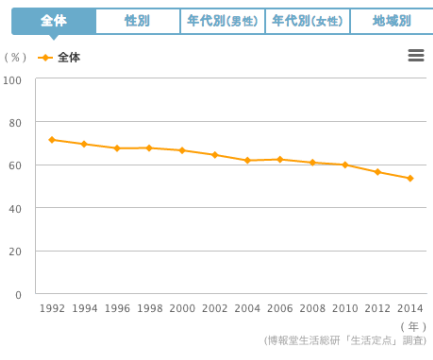
初回(1992年)より -17.9↓ 前回(2012年)より -2.9↓

SHARE [Twitter](#) [facebook](#) [Google+](#)

過去最低の回答率

「あなたの食生活にあてはまるものを教えてください。」という質問に「お米を1日に1度は食べないと気がすまない」と答えた人の割合は前回よりやや下降し、2014年は53.5%となりました。男女差については、2014年は女性の回答率が約4ポイント高い結果となりました。最も特徴的なのは女性60代で、全体より約12ポイント高い65.3%でした。逆に最も低かったのは男性20代で、全体より約9ポイント低い44.9%でした。地域差はしだいに大きくなっており、2014年は阪神圏の回答率が約8ポイント高い結果となりました。

※ このテキスト本文はプログラムにより自動生成されています



生活定点  
特設サイト  
全項目データダウンロード (Excelファイル)  
日本語  
English

No. 1084 環境問題を意識して選び方が変わったものは何ですか？ 14 消費・お金

家電品

最新（2014年）の調査結果  
**41.7%**

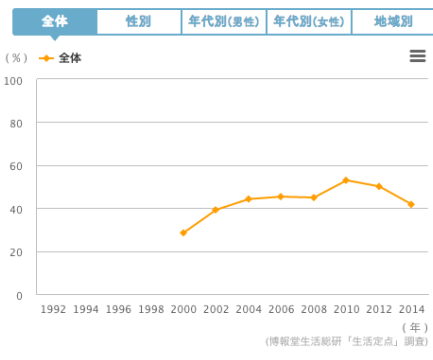
初回(2000年)より +13.2↑ 前回(2012年)より -8.4↓

SHARE [Twitter](#) [facebook](#) [Google+](#)

2010年をピークとした山型

「環境問題を意識して選び方が変わったものは何ですか？」という質問に「家電品」と答えた人の割合は前回より8.4ポイント下降し、2014年は41.7%となりました。男女差については、2014年は男性の回答率が約10ポイント高い結果となりました。最も特徴的なのは男性60代で、全体より約16ポイント高い57.9%でした。逆に最も低かったのは女性20代で、全体より約16ポイント低い26.0%でした。地域差はほとんどなく、2014年は阪神圏の回答率がやや高い結果となりました。

※ このテキスト本文はプログラムにより自動生成されています



生活定点  
特設サイト  
全項目データダウンロード (Excelファイル)  
日本語  
English

## ■特徴

### 1. 回答同士の相関度が高い項目がわかる、「似てるかもグラフ」

約 1,500 項目のグラフ推移を対象者タイプ（19 種類）別に総当たりで比較し、形の似ているグラフを自動抽出。約 42,000,000 通りの組み合わせから、回答同士の相関度の高い項目を表示しました。

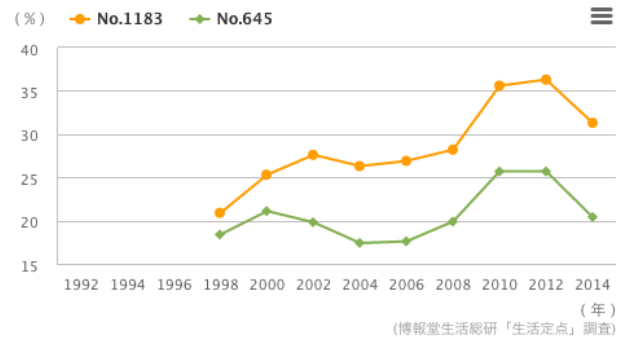
似てるかもグラフは、そのまま SNS などでシェアできます。

※類似データの算出方法：各グラフの推移（前回比）をベクトルとみなし、2 グラフ間のベクトルのなす角度からコサイン類似度を算出。その値をグラフの近さを表す評価値として、上位のものを自動抽出して表示しています。

15 情報  
No.1183  
情報を集める自分なりの方法を持っている  
男性20代

07 遊び  
No.645  
趣味や遊びは人と一緒にやるより、ひとりでやる方が好きである  
男性20代

このデータを見る

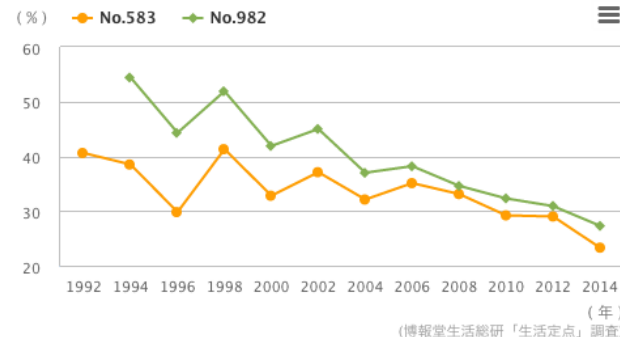


SHARE Twitter facebook Google+

05 住  
No.583  
純和風の部屋に憧れがある  
阪神圏・男性

13 贈答  
No.982  
お中元は毎年欠かさず贈っている  
阪神圏・男性

このデータを見る



SHARE Twitter facebook Google+

### 2. 7種類のグラフの形から、データを「逆引き」

特徴的な 7 つのパターンをもつグラフを、自動抽出してリストアップ。「全体的に上り調子」「ここ 2 年で最も上昇」「山型」「V 字回復」などの推移を追うことで、時代の傾向を俯瞰的にとらえることができます。



### 3. 膨大な数のグラフを「自動で読み解く」解説テキスト

約 29,000 件すべてのグラフの推移を自動で読み解き、調査結果の解説テキストを生成。概況だけでなく、男女差・地域差・年代差の時代ごとの変化まで、グラフを見なくても把握することができます。

※自動解説の対象ページは、折れ線グラフの表示された回答ページの解説本文部分です。

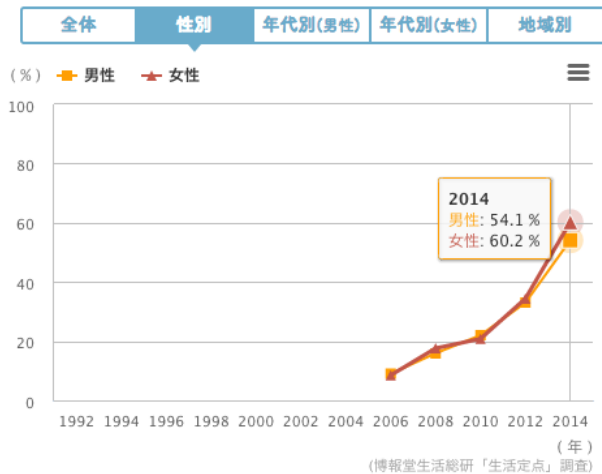
#### ここ2年で最も上昇

「ソーシャルメディアの利用をしていますか？[ネット利用者]」という質問に「している」と答えた人の割合は前回より23.4ポイント以上の大幅上昇となり、2014年は57.1%となりました。

男女差はしだいに大きくなっており、2014年は女性の回答率が約6ポイント高い結果となりました。最も特徴的なのは女性60代で、全体より約42ポイント低い15.4%でした。逆に最も高かったのは女性20代で、全体より約31ポイント高い88.0%でした。

地域差については、2014年は首都圏の回答率がやや高い結果となりました。

※ このテキスト本文はプログラムにより自動生成されています



#### 【サイト情報】

名称：博報堂生活総合研究所『生活定点』特設サイト

公開日：2014年10月22日（水）

URL：<http://seikatsusoken.jp/teiten2014/>

#### ■博報堂生活総合研究所とは

30年以上にわたり、生活者研究を続けてきた株式会社博報堂のシンクタンク。人間を「まるごと」観て、生活の未来を考える、「生活者発想」を実践・推進する研究所です。

#### ■チームラボとは

プログラマー・エンジニア（UI エンジニア、DB エンジニア、ネットワークエンジニア、ハードウェアエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト）、数学者、建築家、CG アニメーター、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、スペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。サイエンス・テクノロジー・アート・デザインの境界線を曖昧にしながら活動中。

主な実績として、カイカイキキギャラリー台北（台湾）で『生きる』展開催（2011）。『LAVAL VIRTUAL』（フランス）にて「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」が建築・芸術・文化賞を受賞（2012）。国立台湾美術館（台湾）にてチームラボ「We are the Future」展を開催（2012）。「teamLabBody」が Unity Awards 2013 の Best VizSim Project を受賞（2013）。『シンガポールビエンナーレ 2013』にて、「秩序がなくともピースは成り立つ」を展示（2013～2014年）。「チームラボと佐賀 巡る！巡り巡って巡る展」（佐賀）を開催（2014）。東京駅の商業施設「KITTE」にて、新作「時に咲く花」を常設展示（2014～）。『Art Basel - Hong Kong』（香港）にて、「増殖する生命 - Gold」を展示（2014）。Pace Gallery（アメリカ・ニューヨーク）にて『teamLab: Ultra Subjective Space』を開催、デジタルアート作品 6 作品を展示（2014）。『香川ウォーターフロント・フェスティバル』など香川県内 3 会場で、ショーとデジタルアート作品を展示する『チームラボと香川 夏のデジタルアート祭り』を開催（2014）。東京都現代美術館（東京）にて人工衛星の実物大模型に高さ 19m の滝をプロジェクションマッピングする「憑依する滝、人工衛星の重力」を発表（2014）。、Pace Gallery（北京）のグループ展『We Love Video This Summer』に参加（2014）。「秩序がなくともピースは成り立つ」が『アルス・エレクトロニカ』にて、Interactive Art 部門の Honorary Mention（入選）を受賞（2014）。

『チームラボって、何者？』がマガジンハウスより刊行（2013年12月19日）。また、「ヴィレッジヴァンガード」（<http://vvstore.jp/>）や「ラヴィジュール」（<https://www.ravijour.com/>）などのECサイトも共同運営。

現在、ハウステンボス（長崎）のイベント『秋の光の王国』にて新作「呼応する木々」を発表（～10月30日）、『国東半島芸術祭』（大分）にて、新作「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Kunisaki Peninsula」を発表（～11月30日）、『Garden of Unearthly Delights: Works by Ikeda, Tenmyouya & teamLab』（アメリカ/ニューヨーク）で新作含む5作品を展示（～2015年1月11日）、など。

今後の予定として、『pixiv 祭』（六本木）にて、デジタルとお絵かきを融合した空間を設計、新作プロダクトも導入（10月25日～11月24日）、『チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』（東京）にて、デジタルアート作品と「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」を同時展示（11月29日～2015年3月1日）など。

チームラボ株式会社  
<http://www.team-lab.com/>  
チームラボ作品紹介  
<http://www.team-lab.net/>

■本件に関するお問い合わせ  
チームラボ（広報担当・工藤/江城/森）  
[lab-pr@team-lab.com](mailto:lab-pr@team-lab.com)  
03-5804-2356